

A. 主な動き

1. 内政

・30日、ドン社会党党首は、同党はモルドバ社会・経済発展計画の代替案及びその実現のための「影の内閣」閣僚リストを作成中である旨発言。

・31日、ヴォローニン共産党党首は、同党は「平等の保障に関する」法律の修正法案を提出する意向であるとし、その際に議会に復帰する用意があるが、審議が拒否された際は同法律の廃棄を求め国民投票の実施を進める意向である旨表明。

2. 経済

対モルドバ支援

・29日、世界銀行のファン(Qimiao Fan)所長は、モルドバ政府に対して、農業部門の競争力を高め、農民による品質の良い安価な農産物産出を支援するため、キシナウにおいて、2つの合意(1,800万ドル及び440万ドル)に署名した旨発言。

3. 外政

フィラト首相のトルクメニスタン訪問

・30日、フィラト首相は、アシガバットにおけるCIS首脳会合(首相レベル)に出席し、CIS枠内の人的移動の自由の保障、貿易・経済関係の深化及び文化・人文分野における協力の必要性を指摘。

・同日、フィラト首相は、ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領と会談し、エネルギー、農業及び観光分野における両国協力の活性化に関し協議。また、両者は、経済関係の強化を目的とした両国政府間委員会を創設することで合意。

・また、同日、フィラト首相は、メドベージェフ露首相と会談し、両国友好関係の強化につき確認。両者は、エネルギー、投資及び貿易分野の協力、特にモルドバワインのロシア市場輸出制限撤廃問題に関し協議。

ニーベル独経済協力・開発相の来訪

・29日、ニーベル独経済協力・開発相は、モルドバを訪問し、フィラト首相との会談においてモルドバ・独両国関係、モル

ドバの国家再統合及び欧州統合問題に関し協議。ニーベル大臣は、独はモルドバの欧州統合路線支持を継続する旨表明。

・30日、ニーベル大臣は、ラザル副首相兼経済相との会談において、2012年の独からモルドバへの財政援助を450万ユーロ増額する旨伝達。

レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のベルギー訪問

・30日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ブリュッセルにおいてアシュトンEU外務・安全保障政策上級代表と会談し、6月26日のモルドバ・EU協力会議の議題及び沿ドニエストル問題等に関し協議。アシュトン上級代表は、モルドバ政府の改革実施の努力及び査証免除化交渉の条件の第一段階完了を歓迎する旨発言。

その他

・28日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、「平等の保障に関する」法律はEUとの査証免除化交渉を前進させる旨発言。29日、ブリュッセルで開催されたモルドバ・EU協力会議間委員会において、フス議員(自由党)はモルドバは査証免除化交渉の第一段階の行動計画を完了したとして、第二段階への移行をEU側に求める旨発言。

4. 沿ドニエストル

・30日、フィラト首相及びメドベージェフ露首相は、トルクメニスタンにおける会談において、沿ドニエストル問題に関し、最近の変化の傾向を歓迎し、信頼醸成措置の継続及び地域間の障害の除去の重要性を強調。メドベージェフ首相は、露はモルドバの主権及び領土一体性を支持する旨発言。

・30日、沿ドニエストル「最高会議」議員は、「モルドバとの交渉実施の基礎に関する」法案を同「最高会議」に提出。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)